

2014年2月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

- 景気判断は据え置きました。
—前月の「着実に持ち直している」との判断を継続しました。

■項目別の变化点

- 住宅投資の判断を上方修正しました（その他項目は据え置きました）

項目	今回	従来
住宅投資	持ち直している ※2か月連続の上方修正	持ち直しつつある

■今月の变化点

- 前月以降、消費、住宅、生産、雇用等の新たな経済統計が公表されましたが、いずれも「景気の着実な持ち直し」を裏付ける“良いデータ”が続いています。
- 特に、住宅投資については、消費税引上げ前の駆け込み着工が続き、年度内の完成・引渡しを目指して、工事量が高めの水準となってきました。
- ただ、雇用・所得環境において、回復に向けた動きが明確になっていないため、景気判断は据え置きました。

■今月のポイント…転出が止まらない道北地域

➤ 2013年中の人口移動をみると、北海道の転出超数が全国最多の8,154人となる中で（図表1）、道北地域の市町村の転出超過が続いています。

—道北地域の市町村をみると、北見市（▲555人）、稚内市（▲471人）、網走市（▲417人）、旭川市（▲404人）の転出超過が顕著です。特に、北見市、稚内市、旭川市は、この3年間で、転出数が徐々に増えており、転出に拍車がかかっています（図表2）。

—全国1,719市町村の転出ランキングでは、道北の中核都市・旭川市は120位でした。前年（2012年）のランキングが344位でしたので、全国ベースでも、転出が顕著になってきています。

—また、この間、札幌の転入超が続いていますので、北海道の第一都市（札幌市）と第二都市（旭川市）の格差がますます拡大していることになります。

【図表1】都道府県別転出入状況（2013年）（人）

東京都	+70,172
神奈川県	+12,356
埼玉県	+11,554
⋮	⋮
青森県	▲6,056
静岡県	▲6,892
北海道	▲8,154

（出所：総務省・住民基本台帳人口移動報告）

【図表2】道北地域市町村別・転出入状況

～道北地域の市町村のうち2013年の転出数の大きい順に10先を表示 (人)

	2010年	2011年	2012年	2013年
北見市	▲ 235	▲231	▲281	▲555
稚内市	▲ 275	▲400	▲442	▲471
網走市	▲ 176	▲391	▲311	▲417
旭川市	▲ 330	+157	▲190	▲404
名寄市	▲ 259	▲274	▲192	▲301
富良野市	▲ 100	▲191	▲218	▲204
斜里町	▲ 54	▲78	▲28	▲189
美幌町	▲ 175	▲248	▲158	▲187
上富良野町	▲ 205	+39	▲90	▲184
紋別市	▲ 193	▲200	▲208	▲157
札幌市	+5,288	+10,254	+9,108	+10,088
【参考】 道内179 市町村中、 転出超過と なった先数	153先	149先	157先	156先

(出所：総務省・住民基本台帳人口移動報告)

- 経済活動は、基本的に人によって支えられています。人が少なくなれば、経済活動も元気がなくなってきます。近年、道内の各市町村は、企業誘致に力を入れています。人口減少が続く地域への進出には、従業員確保が難しくなるため、企業は躊躇します。そうすると、地域の経済活動がますます低迷しかねません。
- 道北の市町村は、食や観光などで、それぞれが優位性を持っています。こうした特性を活かしつつ、官民あげて産業の底上げを図って、街の魅力を高め、人口の流出に歯止めをかけていくことが一段と求められるように思います。

以上

【補足説明】

➤ 経済活力は、「働き盛りの人口（生産年齢人口＜15～64歳＞）」の多寡で決まります。道北地域の経済への影響度を測る意味で、生産年齢人口で転出入状況をみると、旭川市の転出が顕著です。

——道北地域における転出数（直近4年間累計）を、総数ベースでみると、稚内市（▲1,588人）、北見市（▲1,302人）、網走市（▲1,295）、名寄市（▲1,026人）、旭川市（▲767人）の順となりますが、生産年齢人口ベースでは、旭川市（▲1,587人）の転出が最大です（図表3）。

——旭川市は、近隣の町（例として、鷹栖町、東川町・東神楽町）への転出が人口減につながっている面もありますが、旭川と3町を合算したベースでも、総数・生産年齢人口ともに転出増加が続いています（図表4）。

【図表3】 転出数が多い道北5市の転出入状況 (人)

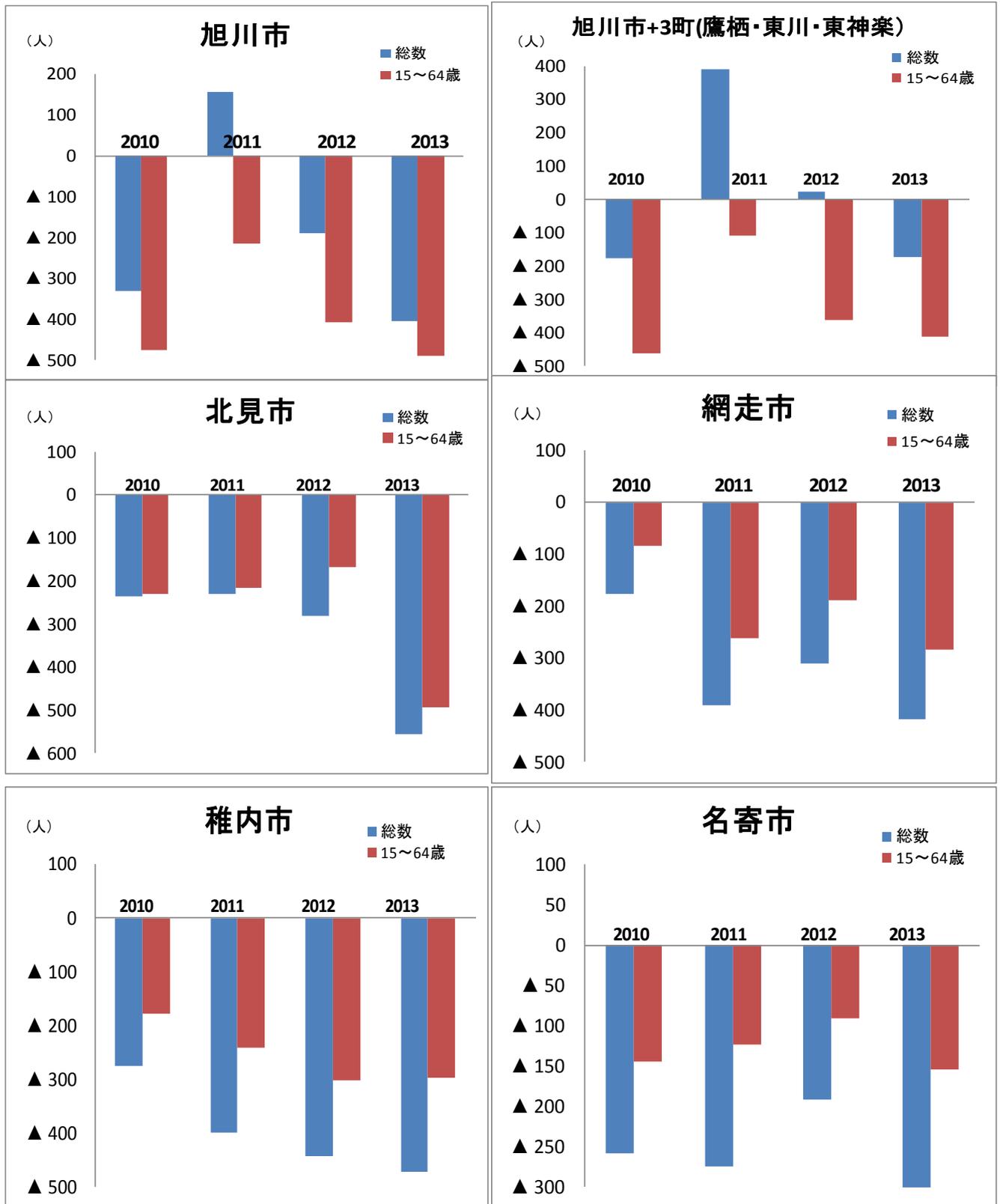
	2010年		2011年		2012年		2013年		4年間累計	
	総数	15～64歳	総数	15～64歳	総数	15～64歳	総数	15～64歳	総数	生産年齢人口
北見市	▲235	▲230	▲231	▲216	▲281	▲167	▲555	▲493	▲1,302	▲1,106
稚内市	▲275	▲178	▲400	▲240	▲442	▲301	▲471	▲298	▲1,588	▲1,017
網走市	▲176	▲84	▲391	▲263	▲311	▲189	▲417	▲283	▲1,295	▲819
旭川市	▲330	▲477	+157	▲214	▲190	▲407	▲404	▲489	▲767	▲1,587
名寄市	▲259	▲145	▲274	▲123	▲192	▲90	▲301	▲154	▲1,026	▲512

【図表4】 旭川市と近隣3町の転出入状況 (人)

	2010年		2011年		2012年		2013年	
	総数	15～64歳	総数	15～64歳	総数	15～64歳	総数	15～64歳
旭川市+3町	▲178	▲461	+391	▲110	+23	▲361	▲172	▲413
旭川市	▲330	▲477	+157	▲214	▲190	▲407	▲404	▲489
鷹栖町	+3	▲23	▲21	▲38	▲52	▲55	▲15	▲30
東川町	+67	+27	+88	+56	+57	▲1	+49	▲11
東神楽町	+82	+12	+167	+86	+208	+102	+198	+117

【参考】道北地域における主な市町村の転出入状況

※前頁の図表3、4をグラフ化したものです



以上